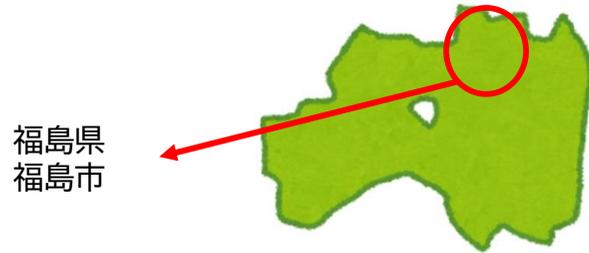


産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(30年度:計画作成主体:福島市地域農業再生協議会)(福島県)

取組の概要

対象品目 : 果樹(ブドウ)(産地面積36.6ha)
 主な取組主体: JAふくしま未来福島地区
 ブドウ専門部会
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
 基準(H29年度)273,985円/10a
 目標(R2年度)302,052円/10a
 導入施設等 : 生産支援事業
 (雨除け栽培資材の導入)



ポイント

【産地の課題及び取組方向】

取組主体であるJAふくしま未来福島地区ブドウ専門部会では、巨峰、高尾等の紫色系を主力品種とし、ブドウ産地としての維持を図っているが、露地栽培のため天候に左右されやすく、病害の発生による品質の低下や収量の減少が大きな課題とされている。

このことから、雨除け栽培施設を導入することで、病虫害防除、収量性・品質の向上を図るとともに、従来品種から消費者及び市場ニーズに合わせた優良品種(シャインマスカット等)への転換を進め、産地の収益性向上を目指す。



【産地の体質強化に向けた方策】

- ①雨除け栽培施設を導入し、病害対策と品質向上を図る。
- ②従来品種からシャインマスカット等の優良品種への転換により、収益の向上を図る。

産地体制

JAふくしま未来福島地区
ブドウ専門部会

需要に応じた供給

- ・雨除け栽培施設の導入
- ・シャインマスカット等への転換
- ・定期的な栽培管理指導会の開催 等

実需者

福島市地域農業再生協議会

- ・取組計画の管理
- ・取組内容への指導・助言 等

情報の共有

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ・定期的な栽培管理指導会の開催(5回/年)
- ・「シャインマスカット」栽培マニュアルの作成及び活用

取組成果

【事業実施による直接効果】

- ①病害等による商品ロス果の減少
- ②果粉の流脱減少による品質の向上、収量の増加
- ③優良品種への転換の促進

【事業実施による間接効果】

- ①栽培管理指導会の実施及び栽培マニュアル活用による品質向上
- ②ブドウの高位均質化により、引き合いがさらに強まり、販売額が増加



販売額が12%
増加
(達成率120%)

